

上郡中学校 校長室だより

2022年4月14日

No. 1

上郡町立上郡中学校
校長 溝端 義和

上郡中学校ホームページにもアップします。是非ご覧ください。

学校目標は「自立・貢献」

自立・貢献

校長の溝端義和です。今年で校長4年目（上郡中学校勤務25年目）で、最後の年（定年）になります。これまで私を教師として育ててくれた上郡中学校のために少しでも恩を返せるよう、36年間培った経験を生かしながら意識高く職務に取り組んでまいります。

今年度の学校目標は、これまでと同じく「自立・貢献」です。教育基本法に義務教育の目的は、「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うこと」と明記されています。子どもたちにはこれからの社会の担い手として、「まず自分の力で考え、自分の力で話し、自分の力で行動するようにしてほしい。そして、自分の力を仲間や地域の方を始め、いろいろな方のために発揮してほしい」と考えています。

学校は「自分をつくる場所」

子どもたちが学校に来る目的は、自分とは違う他者がたくさんいる中で、そうした他者との関わりを通じて自分をつくっていくことです。単に教科の授業を受けて学力を向上させるためだけに学校に来ているわけではありません。

学校目標の「自立」については、どんなことでも一人でする、他者の援助を全く受けないということではなく、自主的に行動しながらも「互いに適切に依存し合う力」をつけることが大切だと考えています。個々にできることできないこと、得意なこと不得意なことがあります。他者との関わりを通じて自分をつくり、他者を理解し、互いに適切に依存し合う力をつけられるよう、人間的なふれあいを大切にした学校経営をしていきます。



始業式、入学式での式辞

始業式では、新2・3年生に「学校生活をより充実したものにするために自分を大切にしてほしい」という話をしました。自分を大切にすることとは、自分を甘やかすことでも自分勝手に生活することでもなく、自分を磨き輝かせながら、さらに自分を伸ばしていくことだと話しています。そのためのポイントとして、「自分を傷つけない」「自分に限界を作らない」「自分以外を大切にする」「夢や目標を持つ」という4つを紹介しました。

入学式では、新入生に「心がけてほしいこととして『挑戦』『具体的な目標』『読書』の3つをあげ、自分を大人へと成長させ、大きな花を咲かせてほしい」と話しました。「『自分を成長させるために、失敗を恐れず、何にでも思い切って挑戦してほしい』、『挑戦するための具体的な目標を、数値化したり、期間を設定したりし、よりはっきりとさせて立ててほしい』、『読書によって、心を耕し、知識を豊かにし、挑戦する世界を広げてほしい』」と話しています。



学力向上に向けて

○「主体的・対話的で深い学び」の推進

授業は、以下の3点に特に力を入れます。

- ・「授業のめあて」を提示し、その時間に何ができるようになるばよいかを生徒がわかって授業に臨めるようにし、授業の最後には「振り返り」をして定着の確認をする。

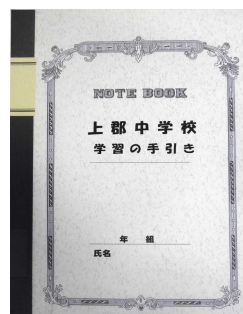
- ・話し合い活動を取り入れ、生徒が主体的に学習に取り組んでいけるよう授業展開する。
- ・ICT（パソコン、プロジェクター等）を活用して「わかりやすく力がつく授業」を行う。

※1人1台支給されるノートパソコン（Chromebook）は、4月中に一度持ち帰り、家庭での接続テストを行ってまいります。



○家庭学習習慣の定着

学力をつけ、伸ばすには、家庭での学習がとても大切です。本校では「学習の手引き」を作成し配布します。「学習の手引き」には、3年間の予定や入試に向けたスケジュール、各教科の効果的な勉強方法や授業中のノートの取り方等について掲載しています。しっかり活用して学力を伸ばしてほしいと思います。また、保護者の方には、週末に自主学習ノートへのコメント（詳しくは「学習の手引き」に記載）をお願いしています。学校と家庭がしっかり連携して、学習習慣の定着を図りましょう。



○スマホ・携帯の使用ルール遵守

- ① 使用時間は22時までの1日2時間以内
- ② 勉強・手伝い・睡眠を優先する
- ③ 個人情報や場所がわかる写真、人を傷つける書き込みは投稿しない



生徒会役員が、スマホ・携帯の使用ルールを上記のように決めています。

生徒自身で決めたことですから、しっかり守ってほしいと思います。各家庭でもルールをきちんと決めて使用させてください。

目標を具体的に立てよう ~生徒のみなさんへ~

ここまで述べた「自分をつくる」や「学力を向上させる」ためには、各自ができるだけ具体的に目標を決める必要があります。目標は自分が絶対に達成したいと思うもので、数値を使いながら結果がはっきりとわかるものにし、より達成の具体イメージが持てるようにすることが大切です。

目標を達成するために、立てた目標を紙に書いて見えるところに貼ったり、口に出したりしながら、できるだけ多くの時間、目標を達成している自分を強くイメージしていきます。ここで大切なことは、目標達成のために頑張っている自分を思い浮かべるのではなく、目標を達成した自分を思い浮かべることです。少なくとも一日に一回は行いましょう。そうすることで、脳がその目標が一番重要なことであると認識し、目標達成のために必要な情報を逃さずキャッチしたり、適切な方法を判断したりし、君たちのやる気を増加させ、目標に近づこうと頑張り続けることができます。

大きな目標を立てた人は、目標達成までの過程を小分割して、1ヶ月単位、1週間単位で達成度合いが確認できるようにするといいです。そうすれば、最終目標に一步步近づいていきます。